

ただいま!

— あたたかな第2の家庭を目指して —

よねさんの 紙芝居!



去年の3月、
急な一日保育で外にも
思うように行けずに悶々として
いた日々、14学童へそれぞれ
4～5日位ずつ連続で回り、
紙芝居で子どもたちを笑顔
にしてくださいました。



コロナ禍での学童保育

入所式はできなかったけど、
新1年生も5月には、
元気いっぱい「ただいま〜!」

皆さまのご厚情に、
心より感謝いたします!

新型コロナウイルス感染症が国内で確認されてから一年が経過しました。突然の小学校の休校の中、「学童は開所」という国の方針のもと、令和二年三月三日から五月二十三日まで一日保育を実施、通常保育に戻ったのが五月二十五日でした。

三密が叫ばれる中、三密が懸念される学童のコロナ感染を防止するため、小学校からは、体育館、グラウンド、ランチルーム等を開放していただき子ども達のストレスの発散や食堂、勉強部屋として三密回避のため積極的な協力に感謝を申し上げます。

また民生委員はじめ地域の皆さんからは、各学童ともマスク、消毒液、おやつ等たくさんの方々の品々や励ましをいただきました。マスク、消毒液等の感染防止物品の不足の中、大変強い思いをしました。

更に多くの企業やボランティア団体等からの特色ある物品の提供は、心温まるものばかりでした。そして、予測もしなかった寄付金には、その思いに敬意と感謝の念に堪えません。

そして新型コロナウイルスが発生し、先々が全く見えない不安と恐怖の中、学童の指導員として身を挺して職務を全うしている指導員にも感謝の気持ちでいっぱいです。

このように、行政はじめ小学校や地域の方々、保護者の皆さんから支えられてきましたが、まだまだ先が見えないコロナ禍ですので、今後とも子ども達の安全・安心のためにご支援、ご協力のほどよろしくお願い致します。

(事務局)

長い間、ありがとうございました

亀ヶ崎学童の保護者会長から始まり、NPO法人がくほれんの前身「学童保育連合会会長」から数えると約20年もの間、市街地の学童を中心に、現在では14学童、1,000人近い子どもたちをかかえる大所帯となり、ご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。



佐藤義朗前理事長退任ご挨拶

平成23年2月に設立された「特定非営利活動法人がくほれんwith酒田」の理事長を、令和2年6月まで務めさせていただきました。皆様には大変お世話になりました。

「働きながらの子育てを充実させたい」「子どもたちを健やかに育てたい」そんな思いで昭和57年に浜田からスタートした学童保育は、令和3年に若浜と宮野浦に第2学童が設置され酒田市では25か所となり、その16か所は当法人となります。

これは行政をはじめとして自治会連合会様や各方面からのご尽力と、保護者や指導員、理事と事務局の皆様のご協力の賜物であり、その中で充実した時間を過ごさせて頂き重ねて感謝申し上げます。

当法人は営利目的ではない団体で、地域の見守りの目と保護者の知恵が縫い合された「太いロープ」のような歴史があり、複数校で第2学童が設置となった現在は、花卉が集まる「あじさい」にも例えられるかもしれません。

「子どもたちは未来の主演」「子どもも保護者も指導員も一緒に成長」をサポートできる学童保育であればと思っています。

杉山道弘新理事長をお迎えし理事や事務局体制も刷新されました。今後とも皆様から温かいご支援を頂けますようお願いし退任の挨拶とさせていただきます。

ご寄付をありがとうございました

田宮和朗様（酒田市みずほ）

前年度は救急箱や持出バック等の充実のために14学童で購入いたしました。

田宮様はお医者さまでもあったことから、今年度も子どもたちの健康管理に役立つものの購入に充てさせていただきます。

花鳥風月さんのボランティアラーメン!



☆自肅期間中、おいしくご馳走になりました。

今年は、他にもご寄付をいただきました

自肅期間を経て6月に入ると、立て続けに匿名でのご寄付を届けて下さった方がいらっしゃいました。子ども食堂へのご寄付が2件、他3件は「自肅期間中に頑張っていた労をねぎらってほしい」ということで、それぞれの思いを尊重させて頂き、有意義に使わせていただきたいと思います。

本当に、どうもありがとうございました。



アルファ米を食べたよ!

☆全学童に備蓄用のアルファ米を頂き、災害に備えて上級生が作り方の工程を体験した学童もありました。





オランダちゃんハッピープロジェクト



みんなに頂きました。
オランダせんべい
Factoryより

取材も
受けました♡



マスク不足の
自粛期間中の
ことでした…

お腹の健康研修の時
ヤクルトさんよりマスクの贈呈



第二民協(浜田・若浜の民生委員)
手作りマスク両地区で326枚贈呈



学童OBの中2生が、手作りで120
枚ものマスクを届けてくれました

ありがとうが
いっぱい



風っ子の会
(穴戸喜美子会長)より折り紙の
キットを頂き、思い思いの作品に!

他にも、県産織りの
マスクや酒田市へ企業・会社や
個人からご寄付いただいたマスク等も
分けて頂き、全学童へ配らせて
いただきました。

*** その他にも、こんなにたくさん、いただきました ***

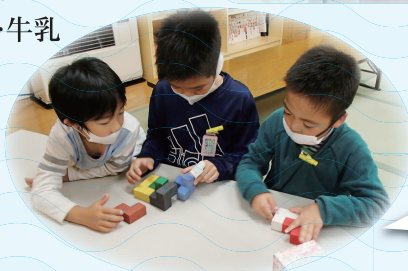
- 酒田市社会福祉協議会様……お菓子類
- 酒田市赤十字奉仕団(酒田市の民生委員で構成)様……市販及び手作りマスク
- 中村塗料販売(株)様……接触感染対策シート
- (株)吉野家ホールディングス様……不織布マスク
(全国学童保育連絡協議会に10万枚寄付したものを。)
- (有)藤井教材社様……ポリエチレン手袋
- 庄内ヤクルト販売(株)様……全児童分ヤクルト
- 県より牛乳の消費拡大【(株)田村牛乳様】事業……牛乳
- (株)ラフ“アラオーヤ様……次亜塩素酸水
- セブンイレブン浜松町店様……お菓子
- 佐藤信様……木製手作りキューブブロック
- ランチいしこう様……昼食カレー提供
- 花やラーメン様……昼食牛丼の具提供

●他にも各学童へ近隣住民のみなさん、OB、保護者の方からもご寄付を頂いておりました。
数多く頂戴していて、ここにすべてご紹介することはできませんが、改めて御礼申し上げます。

たくさんのご厚意、どうもありがとうございました。



おやつで
ヤクルト



手作り
キューブ

☆各学童の環境で違いますが、これまでとは違い、テーブルに2～3人座りで、クリアボードを使って学習している学童もあります。



学習

避難訓練



防災学習

←消防
受け



お花見

ソーシャルディスタンス!

コロナ禍でも、子



当たり前になっていたことがで
ていた事が中止になったりと、カ
の1年。それでも子どもたちは仲
で、ケンカしたり笑ったり、自分
して輝きを見せてくれたように思
ならではの過ごし方を、今回は写



あそび



☆夏以降、行事は縮小したり、いつもとは少し違った形だったりしながら、少しずつですが、始まっていきました。



習“〇×クイズ”

署より指導を
て火災想定

野菜栽培



↑ 枝豆の苗植え
←きゅうりの収穫



七夕



きなくなったり、楽しみにし
がまんすることも多かったこ
仲間と一緒にできる事を楽しん
たちの日常を少しずつ取り戻
います。その様子やコロナ禍
真で紹介いたします。



さかなつり



ボールすくい

夏祭り



しやてき屋さん



ハロウィン





フェイスシールドでの紙芝居



コロナ禍…

非常

施設もこまめに消毒



遊具も消毒



おやつ前にもしっかり消毒



うがい・手消毒もすっかり定着



あでこで検温



指導員研修も、昨年は外部の研修は次々と中止になりましたが、11月に入ると感染予防に留意しながら、少しずつ研修が始まりました。

がくほれん指導員研修会

11月6日(金) 9:30~12:10まで、酒田市勤労者福祉センターにて、モチベーションやコミュニケーション等について、60名で学びました。

7月頃から、少数での研修は実施していましたが…。

コロナ禍の指導員研修

第5回 全国学童保育指導員学校東北会場

11月29日(日) 10:30~16:00まで、午前中は若浜学童で全体会、午後は酒田市地域福祉センターの2階もお借りしての分科会と、どちらも初めてのリモート研修を体験しました。

今後コロナ禍の状態がしばらく続く中では、学童数も増え、リモート会議の必要性和可能性を実感できる体験でした。

全体会
“学童保育と多職種連携”

“職場環境と人間関係”イキイキと働く職場づくりのヒント

新理事長挨拶

「共感の心を育んで」

特定非営利活動法人がくほれん with 酒田 理事長 杉山道弘

令和2年度より理事長を拝命し、重責に身の引き締まる思いですが、就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

まず初めに、前理事長の佐藤義朗様には、当法人の創設、組織の構築と強化、薬剤師というご職業を活かしての様々な健康増進研修など、多大なご功績を残されたことに心より感謝いたします。また、日頃より法人運営に際して多くの皆様に格別のご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本誌サブタイトルにもありますが、子ども達にとって学童保育は第二の家庭です。学校や習い事などで頑張って疲れた心身を癒せる場、「ただいま」と言って帰りたいくなる安心の場でありたいと思います。また、昨今の人口減少や少子化などで体験の場が減少し、子ども達に「共感の心」が薄れつつあると感じています。学童保育では、多人数の異年齢集団であることもあり、様々な人達との関わりが生まれます。普段の生活や行事などからの貴重な体験を通して、「共感の心」を育んでいけたらと思います。

今、新型コロナウイルス禍という逆境の中であればこそ、一人一人丁寧な心配りをしながら、子ども達の未来のため、保護者が安心して働ける社会づくりのために活動を推進して参りますので、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



がくほれん with 酒田 令和2年度理事紹介

理事長	杉山 道弘	副理事長	高橋 修一
理事	松井 浩之	理事	後藤 敬志
理事	佐藤 克実	理事	澁谷裕美子
理事	村西 倫子	理事	那須 憲幸
理事	阿部 勇	理事	梅津満希子
	(事務局長)		(事務局次長)

・・・ よろしく申し上げます ・・・

★私たちの14学童★

● 浜田学区学童	● 亀ヶ崎学区第一学童
● 松陵学区学童	● 亀ヶ崎学区第二学童
● 泉学区第一学童	● 泉学区第二学童
● 松原学区第一学童	● 松原学区第二学童
● 富士見学区学童	● 若浜学区学童
● 琢成学区学童	● 宮野浦学区学童
● 平田学区学童	● 南平田学童





不審者避難訓練 若浜学童◇わくわくクラブ

地球温暖化で気象災害の被害も深刻になっている昨今、地震や津波、洪水等様々な災害に対応出来るよう避難訓練の内容も多様化しています。

コロナ発生以前の一泊保育で、不審者が突然学童に來たことを想定して避難訓練を実施しました。本番さながらの訓練をするために不審者役を誰にしてもらうか悩んでいたところ、たまたま学童に寄って下さった校長先生がその話を聞いて急遽引き受けて下さる事に。こうして訓練にしてはとて有難い配役のもと、実施計画を進めました。

当日子ども達には「不審者が来た時の避難訓練をするよ」ということだけを伝え、どこから逃げるのか、どう行動するのかを確認しました。この時までにはただの訓練だろうという雰囲気がありましたが、いざ誰かが来たことを告げる玄関のチャイムが鳴り、指導員たちが慌ただしく怪しい人が来たと言合すると、皆も「本当に危ない人が来たらしい」とただならぬ気配を感じて指示に従い逃げる準備をし始めました。その頃玄関では不審者をよそおいながらも、そっと指導員に「そろそろ子ども達逃げたかな?」と心配してくださった校長先生でした。

ついに保育室へサングラスにマスク姿の男性が入ってくると、子ども達は焦りつつも落ち着いて避難することができました。不審者が変装を取るなり、「校長先生だったの?」という驚きと共に、皆安堵の笑顔を浮かべていました。

今回こうして訓練できたのは、本当に有難いことだと皆にも伝え、最近の不審者の特徴やこのような緊急時は『いかのおすし』で学校・学童と同じ対応であることを確認することができ、充実した避難訓練となりました。

(指導員 野尻 知見)

あとかき



当法人の広報紙を例年2回発行してきましたが、新型コロナウイルスの発生で、今回は1年半ぶりの発行となりました。法人としても、各学童運営委員会会長で構成しています評議会や保護者会長の中止等、大変ご迷惑をおかけしています。

今回の広報紙第16号は、“コロナ禍での子ども達の生活”を中心に、各学童からの写真を特集してみました。三密の回避やソーシャルディスタンスの確保など学童では難しい面も多い中、掲載の写真で、非日常での子ども達の生活の一端を感じ取っていただければ幸いです。

春、仲間が増えます!

待機児童の発生で長らくご迷惑をおかけしていました若浜学区、宮野浦学区の第2学童保育所が4月1日の開所に向けて急ピッチに工事が進んでいます。



若浜学童は、現保育室の隣に渡り廊下で結ばれた40人規模の保育室になります。宮野浦学童は、小学校の余裕教室を活用した22名規模の保育室になります。

これで当法人は、令和3年度から16学童保育所の運営になりますのでよろしくお願いします。

